

B Z D薬害を考える会

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol. 2 4 5】

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約 400 カ所へ BCC 送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。

本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

- (1) 新規の情報提供希望者が身近におられた場合、BYA-HP の「お問合せ」をご紹介ください。
<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>
- (2) 有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
- (3) 情報の中で「拡散すべき情報」があれば、皆さんの判断で自由に「転送・SNS 拡散」してください。

【目次】

1. 裁判上の請求等による時効の完成猶予及び更新
- 2-1 水虫薬死亡 睡眠剤投入を従業員が記録 会社はチェックせず (添付)
- 2-2. 睡眠剤混入の水虫薬服用した患者死亡、2 人目 80 代男性 (添付)
3. 「信号待ちを利用して、シートベルトを外した」…啞然の判決 (添付)
4. 鑑定過誤訴訟 医療判例解説 Vol.89 Dec. 2020 (添付)
5. 韓国検察、歌手の B o A さん聴取 日本から向精神薬を持ち込みか
6. 精神科の拘束で死亡 控訴審は病院側に賠償命じる逆転判決 石川
7. 五つ子妊娠、減胎手術ミスで 1 人も出産できず…医療法人に 55 万円賠償命令
8. 医療事故で亡くなった長男に今も届く誕生日カード、持ち歩く母の思いは…
9. 西宮の施設元職員起訴内容認める

【記事】

1. 裁判上の請求等による時効の完成猶予及び更新

https://nao-lawoffice.jp/venture-startup/minpou-kaisei/kaiseiminpou-shoumetsujikou.php#toc_6

<https://kitazato.net/2020/04/02/%E6%94%B9%E6%AD%A3%E6%B0%91%E6%B3%95%E3%81%8C%E6%96%BD%E8%A1%8C%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%81%AD%E2%91%A1%E6%99%82%E5%8A%B9%E5%88%B6%E5%BA%A6%E3%81%AE%E6%94%B9%E6%AD%A3part2/>

訴訟提起をすると、その時点でまずは時効の完成が猶予されます。その判決が確定した時において、時効は更新され、時効期間は新たにその進行を始めることとなります。つまり、個人の医療過誤を提訴すれば、少なくとも、医療機関への損害賠償請求訴訟の「時効の完成が猶予される」ということです。なお、医療機関への提訴は、国又は製薬会社に対する時効の猶予にはなりません、「知ったときがいつなのか (時効の起算点)、争点になるでしょうから、医療機関を提訴したところ、国や製薬会社にも問題があることを知った」という論点になり得ます。

(裁判上の請求等による時効の完成猶予及び更新)

第一百四十七条 次に掲げる事由がある場合には、その事由が終了する (確定判決又は確定判決と同一の効力を有するものによって権利が確定することなくその事由が終了した場合にあっては、その終了の時から六箇月を経過する) までの間は、時効は、完成しない。

- 一 裁判上の請求
- 二 支払督促

2020/12/19 13:01

三 民事訴訟法第二百七十五條第一項の和解又は民事調停法（昭和二十六年法律第二百二十二号）若しくは家事事件手続法（平成二十三年法律第五十二号）による調停

四 破産手続参加、再生手続参加又は更生手続参加

2 前項の場合において、確定判決又は確定判決と同一の効力を有するものによって権利が確定したときは、時効は、同項各号に掲げる事由が終了した時から新たにその進行を始める。

2-1 水虫薬死亡 睡眠剤投入を従業員が記録 会社はチェックせず（添付）

<https://www.rad-ar.or.jp/siori/kekka.cgi?n=9885>

<https://mainichi.jp/articles/20201215/k00/00m/040/295000c>

<https://pins.japic.or.jp/pdf/newPINS/00050117.pdf>

塩酸リルマザホン錠（商品名「リスミー」）

2-2. 睡眠剤混入の水虫薬服用した患者死亡、2人目 80代男性（添付）

<https://mainichi.jp/articles/20201217/k00/00m/040/237000c>

3. 「信号待ちを利用して、シートベルトを外した」…啞然の判決（添付）

<https://gentosha-go.com/articles/-/30767>

●被害者側の事情を考慮しない裁判所

●裁判官の官僚化が司法を蝕む

以下引用

『それにしても裁判所、裁判官の質の低下が著しいと私は感じる。いずれも官僚的で杓子定規、自ら問題意識を持って現状を変えていこうという裁判官は少ないように思う。できるだけ前例にしたがって新しいことはしない。下手に動いて失敗したら自分の損になってしまう。そんな、事なかれ主義、役人的思考が蔓延しているのではないか。』

すでに蔓延している。そういう職業の在り方に就いて、生涯裁判官になって満足するのであろうか？せっかく有能な頭脳を与えられながら、利己一辺倒に生きて、無駄な人生に思える。

日本国憲法 80 条前段

『下級裁判所の裁判官は、最高裁判所の指名した者の名簿によつて、内閣でこれを任命する。その裁判官は、任期を十年とし、再任されることができる。但し、法律の定める年齢に達した時には退官する。』

先進諸外国では裁判官が任期を超えて再任され続ける国は存在しない。しかも、司法を監査する機関が存在する国もある。一方、日本はほぼ全員が再任されて、定年（定年年齢＝最高裁・簡裁は70歳、高裁・地裁・家裁は65歳）まで、途中で「ヤメ判」しない限り、ほぼ全員が定年まで居座り続けている。このような状態の裁判官制度は、先進諸外国には存在しない。この憲法の精神（審判者は10年で交替する）の違反による司法の腐敗が日本を駄目国にしている1つの原因である。

4. 鑑定過誤訴訟__医療判例解説 Vol.89 Dec. 2020（添付）

<https://www.molcom.jp/products/detail/142291/>

以下引用

『前訴の『蒸し返し』であれば、「確定判決の既判力ある判決と実質的に矛盾する損害賠償請求」を求めるものであるから、鑑定人の行為について不法行為が成立するのは、あくまでも(a)の場合に限られることになる。それゆえ、これらの点的に絞った応訴が可能となる。』

すなわち、(a) 原則として、再審事由に準ずる事実が存するような場合、があれば、鑑定医に対する過誤訴訟が認容されることになる。さて、NCNPの松本俊彦医師は、鑑定医ではなく、MHLWのベンゾジアゼピン医薬品添付文書とまったく相違する意見書を裁判所に提出しながら、医療過誤判決で採用され、判決に影響を与えている。我々の場合、被告の私的鑑定意見書の過誤に対する訴訟である。

5. 韓国検察、歌手のB○Aさん聴取 日本から向精神薬を持ち込みか

<https://www.niigata-nippo.co.jp/world/lifestyle/20201217587901.html>

6. 精神科の拘束で死亡 控訴審は病院側に賠償命じる逆転判決 石川

2020/12/19 13:01

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201216/k10012768061000.html>

7. 五つ子妊娠、減胎手術ミスで1人も出産できず…医療法人に55万円賠償命令
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20201217-OYT1T50174/>

8. 医療事故で亡くなった長男に今も届く誕生日カード、持ち歩く母の思いは…
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20201218-OYT1T50191/>

9. 西宮の施設元職員起訴内容認める
<https://www3.nhk.or.jp/news/kobe/20201218/2020011198.html>



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史